さかいで大橋まつり海上花火大会にて発生した
警戒船への誹謗中傷に対する市の対応について（お詫び）

日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。8 月 11 日に開催した「さかいで大橋まつり海上花火大会」において、市が海上での警備を依頼していた警戒船「あさひ丸」が花火の打ち上げ遅延の原因だとして誹謗中傷を受ける事案が発生し、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

① 概要

さかいで大橋まつり海上花火大会におきまして、台風による強風や波の影響等で開催自体が危ぶまれる中、直前まで花火台船の位置や航泊禁止区域の調整を重ねてまいりました結果、打ち上げ開始予定時刻の 20 時を迎えた際、航泊禁止区域内に数隻の船舶が進入している事態が発生しました。

海上の観覧船の安全を確保するため、本部から各警戒船へ順次連絡し、航泊禁止区域内に進入していると思われる船舶に対して注意喚起を実施しました。

20 時以降、中央ふ頭会場で花火打ち上げの開始を待つ観覧客の混乱を防ぐため、私より以下のアナウンスを実施しました。「ただいま航泊禁止区域に数隻の船がいるため、区域外に移動するまで今しばらくお待ちください。ご理解とご協力をよろしくお願いします。」という状況をお伝えしました。なお、航泊禁止区域に進入した船舶の特定には至っておりません。

その後、会場周辺の観覧船の安全確保が完了したため、予告時刻から 30 分遅れで花火大会を開始いたしました。

花火大会終了後、周辺海域で警戒業務にあたっていた警戒船「あさひ丸」の写真がＸ上に投稿され、同船が花火遅延の原因であるかのような事実無根の誹謗中傷を受ける事案が発生いたしました。

本市では、事案を把握した翌日の 12 日中に、市公式ホームページおよび公式Ｘへ「誤情報拡散防止のお願い」を掲載いたしました。なお、さらなる誤情報拡散やイメージ悪化を防ぐため、掲載文ではあえて「あさひ丸」の名称を伏せて公開しております。また、「誤情報拡散防止のお願い」を掲載したのち、Ｘの投稿者本人によって該当する投稿が削除されたことを確認いたしました。

② 原因

当日は関係各所からの情報が錯綜するなか、観客の皆様の安全確保を最優先に対応し、無事故で打ち上げを遂行いたしましたが、一方で、花火の遅延理由に関する情報発信において、以下の情報の不足がございました。

１．告知が中央ふ頭会場本部付近のアナウンスのみに留まり、他のエリアの観客の皆様へ伝わらなかったこと。
２．会場付近でのアナウンスによる説明内容が不十分であったこと。
これらの情報発信の不備が、結果として遅延理由に関する憶測を呼び、SNS 上の誤情報拡散に繋がったと重く受け止めています。

③ 今後の再発防止

今後は、不測の事態に柔軟に対応できるよう準備を整えてまいります。同時に、多くの方へ迅速に情報提供を行うため、中央ふ頭会場本部付近でのアナウンスに加え、SNS 等を活用して状況を随時発信するなど、情報提供の体制強化を図ってまいります。

④ 令和 8 年 10 月 23 日の定例記者会見について

令和 8 年 10 月 23 日の定例記者会見において、読売新聞大阪本社の記者から以下の 2 つの質問をいただきました。

○そのうちの 1 つ、「花火大会で警戒船が SNS 上で犯人扱いされた件について、市がこれ以上対応しないと判断した理由は何か。」という質問に対する私の回答です。
私自身が 8 月 24 日にご本人に直接お会いし、「私のアナウンスが原因となっているのであればお詫びいたします。」と謝罪した際、ご本人から「後は市長にお任せします。」とのお言葉をいただきました。市としては、今後も誹謗中傷が続くようであれば何らかの対応が必要だと考えておりましたが、早い段階で当該投稿文は削除されており、現在のところ新たな投稿も確認されていないことから、現時点で特別追加の対応が必要だとは認識しておりませんでした。

○２つ目の「あさひ丸」の営業終了に関する質問に対する私の回答です。
「読売新聞の記事では今回の事象が廃業の直接原因と報じられていたが、花火大会直後に船が売却されている点から、以前より計画されていたのではないか。」という旨の発言をいたしました。

しかしながら、廃業の経緯についての確実な事実関係は把握しておらず、私の不確実な発言により「あさひ丸」の関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。